

◆社友・広報庶務部： (㊦ 山口正洋委員)  
 ・ふれあい折り込みひのきしん1月は5組で  
 お願い致します。

◆婦人会：…………… (㊦ 山口さとみ委員)  
 例会は休会とさせていただきます。

◆青年会・献血担当： (㊦ 山下洋平委員)  
 と き 12月18日(金) 10時 献血ルーム  
 ミュージック 駅前にて声掛け どなたでも参  
 加できます。力添えをお願いいたします。  
 ・青年会費の布教所からの協力金(50円)は  
 立教184年1月より取りやめとさせていただきます。  
 きます。ご協力有難うございました。教会  
 は引き続きお願いいたします。

◆学生担当：…………… (㊦ 水野慎治委員)  
 ・春の学生おちばがえりに変わる行事に挙つ  
 て参加ください。

◆時報手配り：…………… (㊦ 板山眞一委員)  
 ・時報手配りは12月20日号が年内最終です。  
 年始は1/17号となります。お間違えの無  
 いようお願いいたします。

◆浜松楽所・・・休会  
 と き 12月 日( ) 19時

◆あらみち会： (㊦ 太田貴之委員)  
 日時 22日(火) 午前9時15分  
 12時00分  
 会場 本濱松分教会  
 講話 板山眞一先生  
 バス ⑮ポール 気賀・三ヶ日行き  
 姫街道車庫 下車

◆定例委員会・例会  
 ◆運営委員会・・・休会  
 と き 1月 日( ) 9時30分

◆青年会献血・・・ミュージック  
 と き 12月18日(金) 10時

◆婦人会例会・・・休会

◆女子青年部例会・・・休会

◆ハーブの会・・・休会

◆1月 年頭会議  
 と き 1月6日(水) 9時30分  
 会場 中富分教会(中島)  
 当番委員 小楠友一委員

◆各組活動  
 各組活動も状況により急遽変更になる場合があるかも  
 しれません。ご了承ください。

【1組】…………… 組長 鈴木 豊司(濱 東)  
 〈配本・集金〉 12月28日(月)

〈合同会議〉 1月6日(水) 15時00分 濱 東  
 〈ひのきしん〉 1月 日(日) 休会

【2組】…………… 組長 板山 眞一(本濱松)  
 〈配本・集金〉 12月27日(日) 13時00分 本濱松

【3組】…………… 組長 長田 虎夫(濱 都)  
 〈配本〉 12月29日(月) 10時00分 濱 都  
 〈班長会議〉 月 日( ) 15時00分 休会  
 〈ひのきしん〉 月 日(日) 時 分 中止  
 曳馬南公園

【4組】…………… 組長 谷口 和幸(四日市浜)  
 〈合同会議〉 1月9日(土) 9時30分 四日市浜

【5組】…………… 組長 大石いね子(薫浜松)  
 〈配本・集金〉 12月28日(月) 9時30分 薫浜松

【6組】…………… 組長 宮本 善成(長 上)  
 〈合同会議〉 12・1月 日( ) 時 分 休会

【7組】…………… 組長 小楠 友一(静 濱)  
 〈配本・集金〉 1月9日(土) 10時00分 篠原

# ふれあい

2020年  
 12月号  
 No.436  
 会部とも  
 支遠のよ

にら〜に月日さんねんやまくと  
 つもりであるとはらしたいから  
 第八号ー1

## 本年を振り返り、これから向かって

運営委員長 杉本 和弘

立教183年、今、ふれあいをお  
 読みの皆様はどのように過ごさ  
 れた一年でありましたか？

昨年今頃は、新型コロナの  
 情報は少しづつ流れてはしまし  
 たが、私自身、対岸の火事のよ  
 うな感覚で、年末年始を過ごし  
 ておりました。

年が改まり、大変な状況であ  
 ることが、メディアによって連  
 日報道され、非常事態宣言の発  
 令、マスクにばかり、右往左往  
 していた記憶があります。

第二波を越え、10月頃には少  
 し落ち着いて来たように見えま  
 したが、第三波の到来、身近な  
 地域から感染者の発表で、一層  
 行動に慎重にならざるを得ない

状況になってきました。

お道に於いても、本部からの  
 通達により、各教会の月次祭  
 の参拝者の制限や直会の制限な  
 ど、会長さん方々にも、参拝さ  
 れる皆様にも、判断が難しい一  
 年だったと思わせて頂きます。

まだ終息する気配がない状況  
 ですが、経済活動や、人の動き  
 が緩やかになっていきます。本部  
 参拝も、26日は制限されてます  
 が、日常は普段通り、各大教会  
 の団参も解除され、一人一人が  
 注意を払いながら、信仰を通じ  
 て行動をしていくことが求めら  
 れていくのでしょうか。

各大教会、教区では、来年の  
 活動計画を相談する時期になり

ました。行事計画には難しい判  
 断が求められますが、行事に参  
 加させて頂く私達が、勇んだ心  
 で行動する事が、親神様、教祖  
 にお喜びいただけるのではない  
 かと思わせて頂きます。

さて、去る8月27日、本部か  
 なめ会の席上で、表統領・中田  
 善亮先生が、教祖140年祭、さら  
 に150年祭、立教200年に向かう思  
 いをお話になっておられます。

「みちのとも」10月号に掲載)  
 その中に「教祖150年祭と立教  
 200年には、それぞれが今よりも  
 にぎやかに勇み、勇ませ合うた  
 すけ一条の姿に、みんなが、全  
 教会が前進することを目指した  
 いのです。…中略… それを今  
 から若い人たちと相談した、目  
 指す目標を合わせて、自分の役  
 割を後は体力の限り尽くさせて

もらうだけのことです」  
 とあります。  
 16、17年後といえれば私も70代  
 後半の姿を想像します。体力的  
 には、今より遥かに衰えていく  
 ものだと思いますが、「年齢は  
 関係ありません」と表統領の話  
 にもあるように、若い方々との  
 意見を交え、気持ちを切らさず  
 に歩みを進めたいと思います。

支部内の皆様も、今の世の中  
 の状況に、心不安に陥ることが  
 あるかもしれません。現在の  
 状況も、年月はかかるかもしれ  
 ませんが、いざれ治まって行く  
 ことを願いつつ、お道の140年祭  
 150年祭、さらに立教200年に向か  
 う勇んだ姿を親神様、教祖にご  
 覧いただき、お喜び頂けるよう、  
 迎える明年を喜び勇んだ姿で通  
 らせて頂きましょう。

まずは、支部内の皆様にとつ  
 て年末年始、体調を壊さずに  
 新しい年を迎えられることを節に  
 祈っています。



おはなし  
中臺勘治 先生

立教 181 年度 〈陽気ぐらし講座〉

「家庭のよろこび」  
～夫婦、親子、嫁姑などの関係を通して考える～ (12)

具合が悪いのは、しつかり者の姑さん、しつかり者のお嫁さん、これが具合が悪い。両方ともしつかりしているから、チャンチャンバラバラ。特に気を付けなければならぬのが、しつかり者の姑さん。

しつかり者の姑さんは、お嫁さんが来たら仕込みますよ。しつかりしてるものから、「ああやつたらいい。こうやつたらいい」と、ビシビシ仕込みます。ビシビシ仕込みますと、お嫁さんは入ってきたばかりですから立場がないわけです。「ハイハイ。ハイハイ」と、なんでも聞いてますよ。なんでも聞いていますけど、全部覚えて

いるですよ。そのうち姑さんは、段々、年をとる。お嫁さんが、段々、実権を握ってくる。そうすると反撃のチャンスがやってきます。そして、お嫁さんは、いろんなことを全部覚えていきます。ですから反撃する時は、強いですよ。いろんなことをされてるわけですから。「あんなこともされた、こんなこともされた」。力が入るから、姑さんはボケちゃう。どうしたらいいのか？。どうやって治めていったらいいのか？。

もう、強い力で相手を変えていく時代は終わった。強い力では、相手は変わらない。どうしたらいいのか？

真実で、真実を引きだす。そういう生き方ではないかと思えます。天理教の教祖「おやさま」の通り方こそ、これが本当の相手を変える生き方なんです。たとえば、米泥棒がいた。みんなで取り押さえた。けれども、教祖は、米を取るといふことは、よほど困っていることだろうと、米を与えて返した。そしたら、米泥棒は教祖の真実に感じて、真人間になった。そういうことですね。

また、なまけ者がいた。村一番のなまけもので、皆から「ダメダメ」と言われ、皆でバカにしていた。そのなまけ者を、わざわざ雇い入れ、おやしき入れて、そして「ご苦労さん、ご苦労さん。よく頑張りますね」と声を掛けられた。そしたら、そのなまけ者は、教祖の真実を感じて、人一倍の働き者になっていった。

こうしたことが、教祖伝に書かれているわけですね。真実で真実を引き出す。これが、本気の変え方、そういうことじゃないか。

いかなと思うんです。とくに嫁姑は難しいんです。難しいからこそ、尚一層、真実を引き出すことによって、変えていけばいいんじゃないでしょうか。

私たちは、「ひながた通らねば、ひながたいらん。ひながたより道ないで」と、お聞かせ頂いているんですから、教祖のひながたを手本にさせて頂いたら良いんです。ところが、私のところに、行き詰った人が来られます。そんな中で一番なまけている人に、「ご苦労さん、ご苦労さん。頑張りますね、よくやりますね」と声を掛けて通らせて頂いたら、そのなまけ者は、よけいになまけ者になっちゃいました。

そのうち、堪忍袋の緒が切れて「コラッ」と言って怒った。そしたらビックリして、その時は一生懸命にしたけど、その後は全然変わらない。また、なまけ者に戻ってしまいました。

その時、私は思ったんです。やっぱり本当の変え方は、真実で真実を引き出す。そういう考え方が、本当の変え方。こういうことじゃないかと思いました。

(続く)

# 支部だより

立教 183 年  
R 2.12  
NO.544

## ◆本部・教区事項

・コロナの第3波で感染者が急増しておりますが、教団といたしましても当初のように何でもかんでもとりあえず中止、延期というようなことではなく、しつかりと状況を見極めながら、丁寧に対応をしていく必要があると考えております。無理強いをするのではなく、それぞれ本人の意思を尊重してという条件は付きますが、ぜひ、教会活動は進めたい、おちばがえりもしていただきたい。地元、地域の状況に鑑みて、考慮することは考慮しつつ、おちばへお連れしていただきたい。このように思います。こういったコロナの状況下でも難儀しておられる方はおられます。どうかできる範囲で、許される形の中でしつかりとおたすけの御用にも取り組んでいただきたい。  
・春の学生おちばがえりについて  
「立教184年春の学生おちばがえり」は例年通りの開催を見合わせる事にな

りました。団体ごとのおちばがえり団参(3/1~25)とオンライン(3/28)による行事とさせていただきます。詳細はチラシをご参照くださるか、支部担当まで連絡を！  
・ふるさと納税について  
「ふるさと天理応援寄付金」ふるさと納税の協力について天理市より天理教内の方に対して依頼がございました。天理市民以外の方が対象です。お礼の品の中には「天理カレーも」ございますので詳細はチラシを参照ください

・教会教費について  
只今進めております教会の統合、お預け教会の教会教費について3/27までに報告書を提出されましたお預け教会は納付していただくことなく結構です。

・全教一斉ひのきしんデーについて  
今年にはコロナの緊急事態宣言が発令されたために、それぞれの周辺、身近などところでのひのきしんとなりましたが、来年もどのような状況になるかわかりませんので教区や支部で相談の上「会場を設定して実施する」か今年のように「ようばく家庭周辺で実施する」のいずれかを選択して開催していただく事とします。

・立教184年度からのようばく育成行事について  
成人講座の名称は廃止となります。

- ①「かがやきプログラム」②「にをいがけドリル」③「みおしえ学習会」(新規)映像とシートを使って(司会役)が進行して楽しく教えを学ぶ。1時間半のプログラム「陽気ぐらし講座」は継続して行います。

## ◆支部事項

◆教務部……………(㊟吉岡弘和委員)  
・年末調整の書類は1/18までにお願ひします。

◆修練部……………(㊟高橋重徳委員)  
1月お手振り勉強会は休会とさせていただきます。

◆災救隊……………(㊟山本明久委員)  
11/28エコパにおいて本年度の教区訓練を実施し、当支部より11名の参加がありました。間伐、雑木林開拓、砂防ダム補修等を



させてい  
ただきま  
した。  
ご参加  
有難うご  
ざいまし  
た。